

😊家読（うちどく）はじめてみませんか？😊

【小学生高学年向け】

♣保護者の皆様へ♣

第5号（令和6年7月発行）芦別市立図書館



◆語彙力をつけるなら読書◆

パソコンやタブレットが授業で使用されるようになり、簡単に画像が見られ、検索ができるなど便利になりました。一方で文字を書いたり、辞書を引く機会が減りました。スマホを使うようになると会話も減り、気持ちを伝えることが下手になってきたようです。

本を読んだ方が良いことは、多くの方が知っています。色々な知識が得られ、想像力が育ちます。そして、言葉の数が増え、語彙力がつきます。本の世界では色々な体験ができ、ページを開くたびワクワクドキドキする楽しみがあります。

「ワクワクドキドキを楽しもう！」

★ 時間はたっぷり ★

テレビや電子機器を見たり、ゲームをしていると、あっという間に時間が過ぎて一日が短く感じられますが、キャンプや旅行などに出かけ、自然の中にいると、時間が長く感じられます。

時には家の中の音を消して、静かな時間を過ごしてみませんか。時間を有効に使うことができます。

★ 本の世界を楽しもう ★

本を夢中になって読んで、気が付いたら夜中だったという経験をした人も多いと思います。面白い本に出会うと、知り合いに紹介したくなります。そんな思い出の本を、お子さんと一緒に読んでみませんか？自分で読むのは苦手でも、読んでもらうのはとても楽しいもの。時間のある夏休みを利用して、読み聞かせをしてあげると、一緒に本の世界を楽しむことができ、長いお話も読むことができます。

★ 言葉を言い換える力 ★

言葉は、生活する上で必要不可欠です。その場面に合った正しい言葉を使わないと、色々なトラブルの原因になります。

料理を食べている人が「やばい」と言って食べ残したら、見ている人は「おいしくない」と思います。本当は「すごく美味しい」と言ったつもりで、ただ量が多くて食べ切れなかったという場合もあります。誰にでもわかる言葉で表現していれば、誤解を招くことはありません。

「やばい」「大丈夫」「超〇〇」など、どう判断するのか迷う言葉が多いように感じます。

相手にわかりやすく説明するために言葉を言い換えたり、ネガティブな言葉をポジティブな言葉に言い換えることで、相手の受け取り方が違ってきます。言葉を言い換える力があると、コミュニケーションが上手にでき、ストレスの少ない生活を送ることができます。本を読むと自然と「語彙」が増え、「語彙力」もついてきます。



小学校高学年向け おすすめ本のリスト

家読通信 No.5

4年生におすすめの本

子どもだけのキャンプ



「秘密基地のつくりかた
教えます」

作：那須 正幹
出版社：ポプラ社

守るために声をあげよう！



「本おじさんのまちかど図書館」

作：ウマ・クリシュナズワミー
出版社：フレーベル館

読んで博士になろう！

誰でも、知らないことっていっぱいあります。謎がわかるととっても楽しいし、もっといろいろと知りたくなります。知っていそうで意外と知られていないことを紹介した、読んで得する本。友達や家族に、話したくなるはず…。

秘密、教えます

「パンダの手には、かくされたひみつがあった！」

文：山本省三 絵：喜多村武
監修：遠藤秀紀（くもん出版）

パンダの指は5本じゃないの？
熊なのに、竹をにぎれるのはなぜ？



「きょうりゅうレントゲンびょういん」

文・絵：キョン・ヘウォン
（パイ インターナショナル）

どんななやみも、ほねからかい
けつします。では レントゲン
をとりましょう！



「絵ときゾウの時間とネズミの時間」

文：本川達雄 絵：あべ弘士
（福音館書店）

ネズミはゾウよりも大食い！？
ゾウの時間（寿命）もネズミの
時間（寿命）も同じ？



「ふしぎ！光る生きもの大図鑑」

文：近江谷克裕・小江克典
（国土社）

光る生きものはたくさんいます。
光るしくみと理由を知ろう！



「神社のえほん」

作・絵：羽尻利門（あすなろ書房）

神社は何のためにあるの？
参道（さんどう）の真ん中は歩
いちゃダメ。正しい参拝のし
かたを覚えよう！



5年生におすすめの本

特別な春休み



「三島由宇、当選確定！」

作：まはら三桃
出版社：講談社

幸福とは何か考えよう！



「世界でいちばん貧しい
大統領のスピーチ」

述：ムヒカ/編：くさばよしみ
出版社：汐文社

6年生におすすめの本

水が必要だ！



「中村哲物語」

作：松島恵利子
出版社：汐文社

大人たちを救わなきゃ



「火星のライオン」

作：ジェニファー・L・ホルム
出版社：ほるぷ出版